

今年度も全国各地で自然被害が相次いでいます。

それらの災害検証では、多くの専門家が「適切な避難行動」の重要性を訴え、その備えとして下記の2点を推奨しています。

- まず、自分が居る場所（自宅や職場 etc.）の災害環境を知ること
- そして、豪雨時の避難行動を平常時から考えておくこと。

豊中市では、地震などの自然災害の被害想定や対策をまとめた「我が家の防砂マップ」、記録的な豪雨による市内の浸水想定深さを示した「浸水ハザードマップ」を公表しております。

残念ながら、これらの資料は、市内の全世帯には配布されていませんが、市役所、新千里出張所、庄内出張所などで配布しています。

また、豊中市ホームページでも見ることが可能です。一度、ご覧ください。

